

顔の見える木材での快適空間づくり事業のうち A材丸太を原材料とする構造材等の普及啓発

【テーマ】A材丸太と地域ブランドを融合させた高付加価値の

新ブランド家具の開発と普及

背景と目的

【背景】

・土井木工がある広島県府中市は、地場の広島県産のA材丸太(主にヒノキ材)を活用することができ、地域ブランドである府中家具の高度な木工技術と、備後畳や備後デニム等の地域ブランドの融合が図れる。

【目的】

・異素材の地域ブランドを融合させた高付加価値の新しいブランドの家具と建具を開発し、「WOODコレクション(モクコレ)2019」に出展することで広島県産のA材丸太の付加価値を引き上げ、広めることを目的とする。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

○府中家具の高度な木工技術でA材丸太を製品化することで、幅広くA材丸太を視覚的に認知できるようにします。また地域のブランドである備後デニムをソファのクッションなどに使用し、ブランドの相乗効果により、A材丸太の製品がさらに高付加価値の製品へと昇華させます。

写真・図等



デニムとヒノキ材のソファのイメージCG



以前製作したデニムを使ったヒノキの遊具

事業実施主体

土井木工株式会社

実施体制・連携グループ

- A材丸太調達: 近藤木材株式会社
- A材丸太加工: 土井木工株式会社
- 商品製作: 土井木工株式会社
- 新ブランドコンセプトデザイン: 土井木工株式会社
- 商品デザイン: 土井木工株式会社
- ホームページデザイン: 株式会社エムズカンパニー
- 写真撮影及びカタログ製作: 有限会社コトブキ印刷

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①7月までのデザイン会議にて新ブランドのコンセプト構築と、商品デザインを決定します。府中家具の伝統と最新設備の木工技術と、地域ブランドの備後デニムと備後畳のコラボによる相乗効果で高付加価値の商品デザインを設計します。
- ②9月までに試作品を繰り返し完成させ、10月にカタログ用の写真撮影を行います。ロケーションは地域の有名施設やモデル展示場等で行い、地域をアピールし、A材丸太と共に暮らす生活空間を演出します。
- ③「WOODコレクション(モクコレ)2019」に出展し成果を出すためには、事前にホームページを製作し、広島県産のA材丸太が育つ山の風景や、製材所の現場写真、商品加工工場の加工風景の写真を撮影し、それらの写真を駆使して、A材丸太の予備知識をユーザーにお伝えでき、実際に展示会で見て頂くとよりA材丸太の良さが伝わると考えています。またfacebookや、instagram等のSNSを活用し、ユーザー視点で分かりやすく説明できるようにします。この一連の流れを写真で説明が可能なのは土井木工のネットワークならではの手法だと考えています。
- ④「WOODコレクション(モクコレ)2019」では土井木工の全国の取引先の工務店やインテリアショップに招待状を出し事前に周知して頂く。また展示会中の風景も事前に作成したホームページやSNSを駆使してアピールし、今後につながるようなPR活動を継続する。

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

デザイン会議

試作品開発

商品完成

商品撮影

カタログ/HP製作

展示会

報告書作成